

第七次国有林野施業実施計画書

(東予森林計画区)

計画期間
自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 12 年 3 月 31 日

四国森林管理局

目次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域.....	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量.....	1
	(1) 伐採造林計画簿.....	1
	(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等.....	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積.....	1
	(4) 伐採総量.....	2
	(5) 更新総量.....	3
	(6) 保育総量.....	3
3	特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積.....	4
4	林道の整備に関する事項.....	4
5	治山に関する事項.....	5
6	保護林及び緑の回廊の名称及び区域.....	6
	(1) 保護林の名称及び区域.....	6
	(2) 緑の回廊の名称及び区域.....	7
7	樹木採取区の名称、所在地及び面積.....	7
8	レクリエーションの森の名称及び区域.....	8
9	国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項.....	9
	(1) 森林共同施業団地の名称及び区域.....	9
	(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域.....	9
10	その他必要な事項.....	9
	(1) 施業指標林、試験地等.....	9
	(2) フィールドの提供.....	9
	(3) その他.....	10

※ 本計画書内の集計表に関して共通する注釈
単位未満四捨五入により、計と内訳が一致しない場合がある。

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

機能類型の配置については、国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別添2「伐採造林計画簿」に示すとおりである。

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

施業群		面積	取扱いの内容	伐期齢
施業群	スギ分散伐区	25	育成単層林施業 概ね 5ha 以下	45 年
	ヒノキ分散伐区	153	〃 〃	50 年
	スギ長伐期	133	〃 〃	90 年
	ヒノキ長伐期	796	〃 〃	100 年
	複層林	1,162	育成複層林施業	80 年
	スギ長伐期複層林	13	〃	130 年
	その他複層林	16	〃 択伐	定めない
	択伐	1,390	天然生林施業	定めない
施業群設定外		5		
合計		3,693		

注：施業群設定外は試験地等である。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群分類	上限伐採面積	備考
通常伐期施業	18	スギ分散伐区、ヒノキ分散伐区
長伐期施業	47	スギ長伐期、ヒノキ長伐期
複層林施業	146	複層林、スギ長伐期複層林
天然林・その他施業	定めない	その他複層林、択伐

注：契約に基づいて主伐を実施する分収林については、水源涵養機能の発揮に支障がない限り、箇所ごとの伐採面積の合計が上限伐採面積を超えて定めることができる。

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
山地災害防止タイプ	—	20,670 (87)	20,670				
自然維持タイプ	—	—	—				
森林空間利用タイプ	—	—	—				
水 源 涵 養 タ イ プ	ヒノキ分散伐区	28,385	—	28,385			
	スギ長伐期	—	1,572 (6)	1,572			
	ヒノキ長伐期	—	21,402 (102)	21,402			
	複層林	6,255	40,764 (204)	47,019			
	スギ長伐期複層 林	—	1,692 (11)	1,692			
	択 伐	—	122 (1)	122			
	施業群設定外	—	819 (5)	819			
	計	34,640	66,371 (330)	101,011			
合 計	34,640	87,041 (417)	121,681	6,940	128,621	—	128,621
年 平 均	6,928	17,408 (83)	24,336	1,388	25,724	—	25,724

注：（ ）は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市町村名	林 地					林地 以外	合 計
	主伐	間伐	小計	臨時 伐採量	計		
四国中央市	3,602	9,282	12,884	/	/	/	/
西条市	31,038	77,759	108,797				
計	34,640	87,041	121,681				

注：臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ [°]	自然維持 タイプ [°]	森林空間 利用タイプ [°]	快適環境 形成タイプ [°]	水源涵養 タイプ [°]	合 計
人工 造林	単層林造成	5	—	—	—	26	31
	複層林造成	—	—	—	—	7	7
	計	5	—	—	—	33	38
天 然 更 新	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	1	—	—	—	3	3
	ぼう芽	—	—	—	—	—	—
	計	1	—	—	—	3	3
合 計		5	—	—	—	36	41

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ [°]	自然維持 タイプ [°]	森林空間 利用タイプ [°]	快適環境 形成タイプ [°]	水源涵養 タイプ [°]	合 計
保 育	下刈	7	—	—	—	62	70
	つる切	—	—	—	—	0	0
	除伐	—	—	—	—	—	—
	計	7	—	—	—	63	70

注：「0」は、単位未満の数値であることを表す。

3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積

(単位：ha)

所在地（林小班）		面積
1011	ろ	320.80
1029	と8、ち、る1	
1030	は、は1、ち、ぬ1～ぬ5、ぬ7、ぬ8、な3、う1、う2	
1035	い2、い3、ぬ2	
1040	い1～い5、は、わ1、れ2、れ3	
1041	い1、い2、ろ、は、ら、む	
1044	に、ほ21、と	
1048	へ、と	

4 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所（林班）	延長	備考
開設		該当なし			
基幹	改良	石鎚	民有地、 1008～1011	50	
		西之川	民有地、1021	50	
		主谷	民有地、1032、 1033	50	
		瓶ヶ森1号	1035、1036	50	
		基幹計	4箇所	200	
その他	改良	笹ヶ峰	民有地、1040、 1041	50	
		西之川	1026	50	
		陰地	民有地、1029、 1030	50	
		瓶ヶ森1号 ・36支線	1036	50	
		加茂川 ・主谷線	民有地	50	
		中之川	民有地	50	
		西之谷	民有地、1044	50	
		その他計	7箇所	350	
改良計			11箇所	550	
合計			11箇所	550	

5 治山に関する事項

位 置 (林班)	区 分	工 種	計 画 量
[1040~1042]	保全施設	溪間工	1 箇所
[1047、1048]		山腹工	1 箇所
合 計	保全施設	溪間工	1 箇所
		山腹工	1 箇所
		計	2 箇所

注1：林班[]の区分は、事業評価の地区単位。

注2：保全施設の計は、溪間工・山腹工が重複する箇所は1箇所として集計した。

注3：災害復旧等緊急を要する場合には、計画箇所以外においても実行可能。

6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

(単位：ha)

区分	名称	面積	位置 (林小班)	特徴等	備考
森林生態系保護地域	いしづちさん 石鎚山 けい系	保存地区 325.12	1001 い、ろ、イ 1002 い、ろ、イ 1003 ろ、イ 1007 ろ、は、に、へ1、イ、ロ 1008 と 1009 に 1011 ほ 1013 か 1018 り、ぬ1 1024 と	約 1,300 m の 標高差があり、暖 温帯から亜寒帯 までの林相の垂 直分布を見るこ とができる。シコ クシラベ、ダケカ ンバ、ブナ、ミズ ナラ、コハウチワ カエデ、モミ、ツ	
		保全利用地区 572.83	1001 い1、ろ1、ロ 1002 い1 1003 い 1007 い、ほ、へ 1008 に、へ 1009 ろ、は 1011 は1、に 1013 は、わ、か1 1018 り1、ぬ 1019 に 1022 ほ 1023 へ、イ 1024 と1 1025 り	ガ、ウラジロガシ 等の多様な樹種 とともに、希少な 動植物種が生育 している。	
		計 897.95			
合計	1箇所	897.95			

注：森林生態系保護地域は、我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林を主体とする「保存地区」と、保存地区に外部からの影響が直接及ばない緩衝の役割を果たす「保全利用地区」に区分している。

(2) 緑の回廊の名称及び区域

(単位：延長 km、面積 ha)

名称	延長	面積	位置 (林小班)	特徴等	備考
四国山地緑の回廊・石鎚山地区	20	2,290.16	1023 ほ 1024 へ 1025 に、ほ、と、ち、 り 1、ぬ、る、わ、イ、ロ 1026～1028 全 1032 と、ち 1033 全 1034 ほ、へ 1、へ 2 1035 は、に 1036 へ、と 1037 は、に、ほ、イ 1038 い 1、い 2、ろ、は、 に、ほ、へ、ぬ 1、ぬ 2、か 1039 ろ、と、ち 1040 イ 1041 ほ、ほ 1、へ、ち、 り 1、り 2、ぬ、れ、そ、 つ、ね、ロ、ハ、ニ、ホ、へ 1045、1046 全 1048 い、ろ、は、に、ほ、 へ、ち、り、ぬ、る	四国の脊梁に位置する石鎚山系森林生態系保護地域から白髪山天然ヒノキ(遺伝資源)希少個体群保護林等の保護林を連結することにより、森林の連続性を確保し、森林生態系の一層の保護・保全を図り、野生動植物の相互交流に資するなど生物多様性確保の観点から、より広範囲で効果的な森林生態系の保護・保全を目的として設定。	
合計	20	2,290.16			

7 樹木採取区の名称、所在地及び面積
該当なし

8 レクリエーションの森の名称及び区域

(単位 : ha)

種類	名称	面積	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考				
自然休養林	おもごしこく 面河・四国 カルスト	175.13	1013 か1 1018 り1、ぬ 1019 に 1022 ほ 1023 へ	全国七霊山の一つである石鎚山と原生的な天然林、これらを背景とした溪谷美とが調和した優れた景観を有する。	天然生林施業	駐車場(県)園地(県)宿泊施設(久万高原町)(石鎚神社)		風致探勝ゾーン				
			1013 イ 1018 イ 1023 イ		雑地							
	かめがもり 瓶ヶ森	788.90	1024 へ、と1 1025 と、ち、り、 り1、わ 1026 に、ほ、へ 1027 に、ほ、と 1028 に、ほ		石鎚連峰の中央部に位置し冷温帯から亜寒帯までの植生を有し、変化に富む森林景観を示している。				天然生林施業	駐車場(県)宿泊施設(民間)		風致探勝ゾーン
			1032 と、ち 1033 へ、と、ち、り、 ぬ 1034 ほ、へ1、へ2 1035 は、に						雑地			
			1025 イ、ロ 1026 イ、ロ 1027 イ、ロ 1028 イ、ロ、ハ、ニ、 ホ				風致探勝ゾーン					
計	2箇所	964.03										
野外スポーツ地域	じょうじゅ 成就	33.90	1015 ろ、に、ほ、 へ1、へ2、と 1016 は、ら、お	冬期スキーとあわせて、霊峰石鎚山、瓶ヶ森、瀬戸内海の眺望。	天然生林施業	野営場(国、西条市)園地(西条市)						
計	1箇所	33.90										
風景林	どうがもり 堂ヶ森	4.44	1001 ろ1 1001 ロ	笹生地と白骨林と天然林との調和された森林美が優れている。	天然生林施業 雑地	歩道(国)						
	いしづち 石鎚	129.40	1013 と、ち、り、ぬ、 よ、た 1014 は、に、ほ、へ 1015 は、り 1016 に、ほ、へ、と、 ち、り、ぬ、む、う、 の、く 1017 へ、と 1016 イ、ロ	天然林と人工林の調和した森林美、石鎚山及び瓶ヶ森の眺望。	天然生林施業 雑地	ロープウェイ(民間)						

種類	名 称	面積	位置 (林小班)	選定 理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
計	2 箇所	133.84						
合計	5 箇所	1,131.77						

9 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる私有林野の整備及び保全等に関する事項

(1) 森林共同施業団地の名称及び区域

該当なし

(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

10 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

(単位：ha)

種類	名 称	設 定 年	面 積	位 置 (林小班)	備 考
次 代 検 定 林	ヒノキ次代検 定林	昭和 43 年	3.59	1010 ち	精英樹系統種苗の遺伝的 特性を検定するとともに、地 域環境に対する適応性を明 らかにする。 実用化の可能性が高い品 種の苗を試植し、生産性を明 らかにする。
		昭和 48 年	1.35	1041 よ	
		昭和 50 年	0.67	1068 わ 2	
	交雑マツ次代 検定林	平成 7 年	0.51	1068 よ 1～よ 3	
	抵抗性アカマ ツ試植検定林	平成 6 年	0.42	1068 か	

(2) フィールドの提供

該当なし

(3) その他

森林空間利用タイプのうち、レクリエーションの森等を除く区域の施業方法

(単位：ha)

位 置 (林小班)	面 積	施業方法
1065 い、ろ 1066 ろ、に、ほ、へ、ぬ 1067 ろ1、ろ2、に、へ、と 1068 い、ろ、は、に1、に2、ほ、ほ2、へ1、へ11、と1、と11、 と12、ち、ぬ1、ぬ2、る、わ1、か1	317.14	育成複層林施業
1006 ろ、ほ、へ、と 1008 は、ほ 1009 ほ 1010 へ 1013 い、ほ、る 1017 ほ 1018 ち 1019 は、り 1023 ほ 1025 に、ほ、ぬ、る 1026 い、は 1027 い1、い2、ろ、は、へ 1028 い、ろ、は、へ 1033 ろ、に、ほ 1036 へ、と 1037 は、に、ほ 1038 は、に、か 1048 は 1066 い、と、ち、り 1067 い、は、ほ、ち、り 1068 に、ほ1、へ2、ち1、り	906.46	天然生林施業

注：レクリエーションの森等とは、レクリエーションの森、ふれあいの森等協定の森林、施業指標林、試験地等のことである。